

新潟県及び上越市の土砂災害危険箇所数・整備箇所数・整備率

| 区分 | 危険渓流・危険箇所数（ランクⅠ、人家5戸以上）（A） | （A）のうち整備済み・構成箇所（B） | 整備率% [（B）／（A）]（C） |
|------|----------------------------|--------------------|----------------------|
| 土石流 | 2310（272） | 599（66） | 25.9（24.3） |
| 地すべり | 860（217） | 295（91） | 34.3（41.9） |
| がけ崩れ | 1554（83） | 348（7） | 22.4（8.4） |
| 合計 | 4724（572） | 1242（154） | |

※上越市は（ ）内の数値



上越市の「土砂災害警戒区域」指定はまだ46%
土砂災害危険箇所、最優先で整備を

私は9月25日の市議会本会議で一般質問に立ちました。今回の質問テーマは土砂災害対策、中山間地対策、原発問題の3つです。

土砂災害対策について私は、8月20日に発生した広島市での土砂災害から教訓を学び、対策と課題を明確にすべきだと訴えました。

市長は、「広島市で大災害となった原因として、雨量分析の誤りによる避難勧告の遅れや、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定及び砂防ダム整備が進まなかったことが大きな被害を生んだ可能性として指摘されている」「引き続き県に対して、ハード対策の推進とあわせ、土砂災害警戒区域等の指定作業の進捗を図るよう要望してまいりたい」と答えました。今年8月末現在、上越市内にある土砂災害危険箇所数は1248箇所。このうち「土砂災害警戒区域」として指定されているのは575か所（46%）にとどまっています。

今回の私の質問によって、土砂災害対策の遅れを数字で浮き彫りにできました。「土砂災害警戒区域」の指定も遅れていますが、危険箇所の整備も大きく遅れています。左上の表をごらんください。市内では比較的進んでいる地すべり工事でもまだ半分以下の整備率で、大きく遅れています。がけ崩れ防止工事にいたってはわずか8%です。市民の命と安全を確保するためには、財政面でもこの分野にもっと力を入れてもらわなければなりません。



【ツルニンジン】キキョウ科の蔓性多年草。漢字で「蔓人参」と書きます。桑取地区の山林で見つけました。釣鐘状の花を下向きに咲かせます。私が初めてこの花を見つけたのは吉川区の林道大下名木山線でした。花言葉は「感謝、誠実」。

福島地裁判決は「人類と原発は共存できない」ことを教えています

原発の問題では、8月26日に福島地裁で下された原発裁判の判決の評価と柏崎刈羽原発の再稼働などについて質問しました。

市長は、「司法の場で判断されたもので、判決について評価する立場ではない」「安全対策の徹底とあわせ、長期の避難を余儀なくされている被災者の皆様の気持ちに寄り添うような配慮が必要」と答えました。この判決の核心は「原発と人類は共存できない」ことを明確にしたことにあります。そこを読みとつてほしいですね。

市長はまた、柏崎刈羽原発の再稼働に関しては、「再稼働については、国の責任において、技術的・専門的な面から原子力発電所の安全性を確保することが重要、安全性や安全対策の妥当性をどのように評価・確認したのか、また、再稼働の必要性をいかなる観点から判断したのかなどを、国民に丁寧に説明し理解を得るべき」と従来の答弁を繰り返しました。

人間らしい暮らしを中心に据え、モデルの普及を

中山間地対策では5月14日、中山間地対策特別委員会が市長に提出した提案をどう受け止め、具体化していくのかを質問しました。

市長は「直ちに関係部局に対して、これらの取組への反映について検討を指示した」「（提案には）新たな取組のヒントとなるものもある」とのべ、真摯に検討していることが分かりました。今後は、私が再質問で提起したように、中山間地域でこそ人間らしい暮らしができることを中心に据え、広げるべきモデルを明確にしていってほしいですね。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1677 2014.10.5
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見
てある記」は
←こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三二五回

ありもん

玄関の戸を開けて、「いなくなったかいねー」と声をかけたら、台所の方から「はい」という声が聞こえてきました。元気に返事をしてくれたのは上越市の西部、土口でひとり暮らしをしている佐藤フジさん、八六歳です。

この日は事務所のミキ子さんと一緒に桑取地区に宣伝に入っていました。ひとり暮らしだし、桑取の方へ行ったら必ず顔を出してくれない——三和の橋本さんに言われた言葉が耳に残っていたのですが、時計はすでに正午を回っていたので、フジさんの元氣な顔を見たらすぐに帰るつもりでした。

「お茶くらい飲んでいって」フジさんにそう言われて、それなら少しだけお邪魔していくかと居間に上がらせてもらいました。じつはほとんど休みなしに演説を繰り返していたので、のどがかわいていたのです。

フジさんは私たち二人の顔を見るなり、「橋本さんから、おまんた来なると電話もらっていたよ」と言いました。続いて、「幸太郎たちも今朝帰ったばかりかだ」とも言います。連休を利用して新潟に住む息子さん夫婦とその子どもさんの三人が二泊三日で泊まりに来ていたのです。

私の母もそうですが、遠くに離れたところに住んでいた息子やその家族が帰省した時はうれいんでしょうね、息子さんたちが帰ったとはいえ、まだ喜びの余韻が残っていました。幸太郎さんのお連れ合いが料理を作ってくれたことや普段は佐渡にいる孫さんが目指している将来の仕事のことをゆつくりと、うれしそうに語ってくれました。

フジさんはしゃべっている間に何度も台所と居間を行き来しました。お茶と言いながら、ちゃんと煮物を用意してくださいました。たぶん、幸太郎さんたちに食べてもらおうと作ったものの一部なのでしょう、「ありもんだよ」と言ってお出されたものは昆布とタケノコの煮物でした。味がしっかりしみ込んでいてもおいしかったです。ミキ子さんも、「わー、美味しいー。どうやって作るの」と大きな体をゆすりながら質問していました。

出してもらったご馳走はこれだけではありません。新米とおハギも出してもらいました。新米はご飯茶わんに軽く一杯。釜に残っていたものを私とミキ子さんに分けてくださいました。冷や飯でしたが、甘みがあって新米ならではの味がしました。おハギは「粒入りのアン」がぬられ、皿に入っていました。二等分したものが一個、切らずにひとつになつているものが二個です。私が半分に分けていたものの片方を箸でつかもうとしたら、フジさんは「ふたりが一個半ずつ食べられるようにしたんだよ」と言っていて微笑みました。「ありもん」だと言われましたが、「ご飯もおハギもとてもいい味でした。

ご飯とおハギを食べ終わった段階でふと南側の窓の外を見たら、ツリフネソウらしい紫色の花が咲いているのが見えました。カメラを持って裏庭に行くと、花は間違いないツリフネソウでした。そして、うれしいじゃありませんか、そのすぐ傍にキバナアキギリが咲いていたのです。秋になつてから、私がずっと探し続けていた野の花です。

私はフジさんと呼び、ツリフネソウとキバナアキギリを手にしたフジさんの姿を写真に撮りました。花とフジさんの知的な雰囲気マッチしていて、結構いい写真になりました。この日の午後、フジさんの家には、パーマ屋さんがやってくるとか。フジさんは髪に手を当て、「後ろが伸びちゃってね。敬老会も近いし……」と言いました。フジさんのことですから、お札にきつとおいしい食べ物を用意していたに違いありません。

(仮称)厚生産業会館問題で高田区地域協議会が意見書提出へ

9月29日に開催された高田区地域協議会を傍聴してきました。基本設計の事業費が基本構想時を大きく上回る28億円余りになったことを受け、地元の地域協議会で(仮称)厚

生産業会館基本設計の見直しを求める意見書提出について審議されると聞いていたからです。

意見書の提案したのは元市議の杉本敏宏委員。同委員は、「(基本設計は)基本構想とずいぶん違った。名前が同じでも中身は変わっている。改めて諮問を求めたい」などとのべ、建設費を含む基本設計の見直しや基本設計について諮問することを求めました。

市の提案に賛成の委員もいましたが、多くの委員からは、「意見書を出すことに大賛成だ。今回は許せない。最初からやり直すべきだ」「私の周りではほとんどが反対の人がだ。大多数の人の意見を聴くには住民投票をやるしかない。

地域協議会は身近な皆さんを代弁するところに意義がある。地域協議会として言うべきことは言うべきだ」などの意見が相次ぎました。賑やかな議論が行われた後、採決の結果、自主審議にあげること、市長に意見書を提出することを決めました。意見書案については会長や事務局などが案文をまとめ、次回の協議会で正式なものを決定する予定です。

(写真は高田区地域協議会、29日)

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

| | 9月24日(水) | 9月30日(火) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.033 | 0.036 |
| 上越北消防署 | 0.047 | 0.050 |
| 新井消防署 | 0.043 | 0.046 |
| 頸南消防署 | 0.057 | 0.053 |
| 頸北消防署 | 0.047 | 0.043 |
| 東頸消防署 | 0.056 | 0.050 |
| 高士分遣所 | 0.050 | 0.047 |
| 名立分遣所 | 0.050 | 0.046 |

